

鯨漁場建築～鯨御殿とまり(旧川村家番屋、旧武井邸客殿)～ 北海道・泊村



旧武井邸客殿

旧川村家番屋

泊村の鯨漁が始められたのは、今から約300年前といわれている。明治になって鯨漁が全盛期を迎えると、泊村には50を超える鯨番屋が建ち並び、鯨漁によって莫大な富をもたらした鯨番屋は、泊村の繁栄の象徴であった。

当時の繁栄を現在に伝えるこの建物は、明治27年に親方の川村慶次郎氏が建設した『旧川村家番屋』と、大正5年頃に武井忠吉氏によって母屋と棟続きで建設された『旧武井邸客殿』で、どちらも鯨漁が盛んだった当時の姿をいきいきと再現している。

平成13年泊村で初めての有形文化財に指定。

開館：4月下旬～11月9:30～16:30、休館日：毎週月曜日、観覧料300円（大人）

TOPICS

- ・行事：群来まつりくき(開催：7月第3土曜日)・とまりマラソン(開催：9月第2日曜日)
- ・観光：盃温泉郷、盃・堀株海水浴場、茅沼炭鉱跡
袋漕ふくるま(鯨漁業関連遺構)等海岸風景(日本の重要湿地500・後志十景)
- ・特産品：甘づけウニ、鮭トバ、他水産加工品

お問い合わせ先

鯨御殿とまり

TEL / 0135-75-2849

泊村役場教育委員会

TEL / 0135-75-2311

【交通】

バス / 岩内バスターミナルから神恵内線で25分 法輪寺下車

